

絆通信



100号

税理士法人 コモンズ

〒540-0038 大阪市中央区内淡路町3-2-15-403

TEL (06) 6224-3050・FAX (06) 6224-3055

平成27年 3月

絆通信が100号を迎えました！

さりげなく、あっという間に絆通信が100号を迎えました。何か、記念号にしたいとも考えましたが、さりげなく、平常心でゆくことにしました。来月から200号への第一歩が始まります。

ITの活用による業務の革新を

今更と思われるかもしれませんが、かつてのITバブルの崩壊を経て、本当に役立つITは何かが見極めるようになってきています。

技術の進歩はおそろしいほどに速いのですが、今この瞬間、企業経営に役立つITは必ずあります。また、ITを身の丈に合わせて活用するかどうか、経営革新になくしてはならないものとなっています。ITによって時間と空間を超越し、高収益を挙げている企業があります。ITをいかに活用するかという戦略を考えている企業です。

逆にIT化に遅れている企業は、これからの企業戦争に勝つことはできません。いうまでもなくITの技術はさらに進化していきます。ITを活用した業務の革新は中小企業にとっても不可欠な経営テーマになっています。

五月病ってなに？

五月病は正式な病名ではなく通称ですが新しい生活環境にうまく適応できず、あるいは適応しようと頑張りすぎて、ゴールデンウィークを過ぎたあたりからはっきりとした理由はないが体や心の不調になることです。

新しい生活環境に慣れるためには相当なエネルギーを使いますが、肉体的、精神的に疲れることが大きなストレスとなって心身にのしかかります。

五月病は通常一過性のものですが、ストレスをためたまま引きずってしまうと、登校拒否や出社拒否、うつ病などの心の病の引き金になってしまうこともあります。



<症状>

精神的な症状

- ・やる気が出ない・イライラする・憂鬱になる・焦りや不安を感じる
- ・何をするにも億劫に感じる・学校や職場に行きたくなくなる
- ・周りの出来事に関心がなくなる

身体的な症状

- ・朝起きられなくなり、夜なかなか寝付けないなどの睡眠障害
- ・いくら寝ても疲れが取れない
- ・食欲がない、頭痛・腹痛がする

<対策>

- ・気分転換を図る・趣味の時間をとるなど気持ちの切り替えをしましょう
- ・休養をしっかりとる・疲れをためて無理せず、睡眠は充分にとりましょう
- ・悩みは抱え込まない・不安や心配を一人で悩まず、家族や友人に相談しましょう
- ・早めに専門医に相談しましょう。

五月病になったと感じたらそれは、あなたが新しい環境で頑張っている証拠。頑張り過ぎないことも時には必要です。

今こそ「教育」改革を！

社会が活力を失い、世界の中でも存在感がなくなっている現在の日本。政治がおかしいと言っても始まりません。

また、未来に夢を描くことができない若者に、「君たちに明日はない」と言うのか。日本のこのような現状を変える鍵は「教育」しかないのです。

我が国が、世界に伍して発展していくに

は教育に力を入れるしか解決策はありません。目標と自信を喪失したかのように見える今の日本をどうしたらもっと元気な国にできるか、真剣に取り組まなければならないのです。

資源の少ない日本は、人材の育成でしか生きていけない。明治5年の学制発布により、日本発展の道をスタートしたことを今一度思い起こさなければならない。第二次世界大戦後の荒廃の中で6・3・3・4制を導入したことが、国民全体の知的レベルを上げてきたことを自覚しなければならない。

過去2回の大きな教育の変革の時に難局を乗り越えることができたのは、教育に力を入れることで解決してきたことを忘れてはならない。

ついこの間までは世界第2位の経済大国として先進諸国の仲間入りをしたときから目指すべき目標を見失ったのである。

そして戦後70年を経ているんな制度が疲弊してきている。それは年々の経年劣化の証でもある。今こそ、行政や政治が目標を示したうえで、今一度、努力をする必要がある。

文化の度合いが高く、国民が長寿で、幸せで生きがいのある日本、環境問題の先進国としての日本を作り上げるために、それに向かって皆で努力をする。

明治以来、日本の国民は道德性が高く、他国の人々に敬意を払い、困っている人がいれば助けるといった伝統があって、それらが日本の発展に大きく貢献してきた。



教育改革の中でも、大学の改革が重要である。日本の大学の問題点は、卒業生の質の保証ができていないことである。「法学検定」「経営学検定」「経済学検定」といった検定ばかりである。それらの検定の合格状況からしか大学生の「質」を推し量らなければならないといった現状は悲しい。

大学に入るまでは難しいが、卒業するのは易しい。4年間で考える力、知識、行動力、意欲などを向上させ、さらには人間性に磨きをかけて卒業させることができるかどうかでその大学の力をみななければいけない。そのためには、大学教員は自分の研究だけをやるのではなく、教育にもっと力を入れ、そのためのカリキュラムに改革していくことが必要である。

卒業生の質の高さを保証することが大学のブランド力であることを自覚しなければいけない。そのためには、教員の評価を客観的に行わなければならない。その大学でなければできないような教育、研究、社会連携、国際化を推し進めていかなければ、大学に明日はない。

仕事に役立つ法則を一つご紹介します

それは、ハインリッヒの法則。「大事故が起きる前には小さなミスが多発して、必ずその前触れがある」というものです。

この法則は、様々な企業で生かされており、古くは国鉄（現：JRグループ）で『330運動』として災害防止に活用され、現在では苦情対策の考えとして経営にも役立てられています。では、具体的に事故を例に

して、どんな法則かをご紹介します。

「1件の重傷以上の災害」の裏には、「29件の軽傷を伴う事故」と300件の「ヒヤリ・ハット」傷害のない事故が起きるといふ法則です。

これはクレームにも置き換えることができ、1件の「サービスに影響を及ぼすような深刻なクレーム」があれば、29件の「お客様から直接ご指摘頂くようなクレーム」があり、300件の「何も言わないがサービスに不満を持っているお客様がいる」と言えます。

さらに、これを問題の予防の観点から活用すると、1件の重大な問題に発展する前に多くの前触れがあるということですから、問題を事前に察知し、早めに対策をとることで大問題を未然に防止できるということができます。

会計事務所にとって大きな問題の一つである、顧問の解除や事務所としての信頼を失わないために、取るに足らない小さな問題が起きた場合でも、全員が共有し毎回注意を促し、同じミスが起きないように対策を打つことに役立てられます。

手前ミソですが、私共税理士法人コモンズでもこの法則を活用しており、小さな失敗ということを逐一報告し、共有できるように全員が見られる掲示板に「ひやり・はつと報告」として載せています。もちろんきっちり報告してくれる土壌を作る必要がありますので、そのメンバーが晒しものにされているような感覚にならない配慮をしています。



(今 月 の 言 葉)

人は言葉に励まされ 癒される

誠に至る出発点

真の「誠」は何よりもまず己の勤めに打ち込むところから始まるというので良いでしょう。

すなわち誠に至る出発点は、何よりもまず自分の仕事に打ち込むということでしょう。

総じて自己の勤めに対して、自己の一切を傾け尽くしてこれに当たる。

すなわち、もうこれ以上は尽くしようがないというところを、なおもそこに不足を覚えて、さらに一段と自己を投げ出していく。

これが真の誠への歩みというものでしょう。

森 信三 著『終身教授録』

ところが、最近になって朝礼の効果が見直され、復活させたり新たに導入する会社も増えているそうです。

このメール全盛の時代に再び注目されている朝礼についてご紹介します。

●顔を合わせることでやる気スイッチオン

朝礼が再び見直されている理由は、実に顔を合わせることで得られるメリットの大きさにあるようです。

●朝礼は「情報共有の場」

情報伝達は、文書だけでなく口頭でも伝えると、より効果的です。声を聞き、表情を読み取ることで記憶に残り、緊迫感など文字レベルでは難しいことも伝わります。部署ごと、あるいは社内の全員が顔を合わせることで意思疎通の機会も増え、コミュニケーション不足によるミス防止にも役立ちます。

●朝礼は「意思統一の場」

今後の方向性や理念、社是など、社員に共通認識を持っておいてほしいことは、定期的集うことで再確認しあうことが有効です。自然と社内の士気も高まり、想いを共有することでチームワークを強化します。

●朝礼は「社員育成の場」

社外の評価が高い会社は、社員の挨拶マナーが行き届いているものです。朝礼で「おはようございます」と一日をスタートする、これだけでも挨拶の大切さが身につきます。また、スピーチや報告を通じて、原稿を作成するための情報収集力と文章力、敬語や人前で話す時のマナーなど、プレゼン力が習得できます。

思 草 (しぐさ)

「思草」とは、生き方の哲学、心構えといったことを意味します

社長さんのコミュニケーション術

皆さんの会社では朝礼を行っているでしょうか。「朝礼は若手社員に不評」、「全員が朝集まるのは難しい」、「連絡はメールで十分」など、様々な理由で朝礼を廃止したり、もともと行っていない場合もあるかもしれません。



何より朝礼は、「今日も仕事が始まるぞ」と気を引き締め、社員のやる気をスイッチオンさせることができます。普段は交流のない部署の社員同士も顔を合わせることができ、いい刺激となることでしょう。

●型どおりの朝礼から脱皮を

社長の訓示を社員が一方向的に聞いているだけの朝礼。社是を唱和して体操をするだけの朝礼。これまでの型どおりのスタイルでは、確かに社員のやる気スイッチも入りづらいでしょう。

社是の唱和や体操が古いと言っているわけではありません。社是や理念の定期的な再認識は大切ですし、工場や流通のような現業では特に体操は欠かせません。ただ、朝礼のあり方を見直すからには、朝礼も組織の土台づくりの機会と積極的に捉え、より魅力的に改善してはどうでしょうか。

ここで、ある居酒屋チェーンの事例をご紹介します。この居酒屋の朝礼は、国内外から年間2万人も見学に来るほど“元氣な朝礼”で有名です。見学者の業種も様々です。朝礼は20分で「スピーチ訓練、No.1宣言、挨拶訓練」を行います。

スピーチ訓練はテーマを毎回変え、「です！」「ます！」といいきる。No.1宣言は、「笑顔No.1を目指します！」「お客様を幸せにするNo.1になります！」など、大声で宣言する。そして、「いらっしやいませ！」「ありがとうございました！」と、全員で挨拶を元気に唱和。互いに握手をして一本締めで締めくくります。

居酒屋らしく元気をテーマにした工夫が

随所に盛り込まれ、スタッフは終始一貫満面の笑顔、元氣はつらつです。まるでスポーツの試合の前に円陣を組むように、チームワークをがっしりと結んでから開店を迎えます。

●まずは現状の見直しから

「朝礼がマンネリ化している」とお思いの社長さんは、いきなり刷新しようとする前に、まずは現在の朝礼は基本が守れているかチェックしてみましょう。例えば、「スピーチのテーマが毎回同じ」「いつも同じ人が発言する」「発表しても拍手がまばら」といったことがないか見直してみてください。

【朝礼の基本ポイント】

- ・準備をしっかり、何をするのかを明確に
- ・司会、進行は持ち回りで
- ・朝礼のテーマ、スピーチのテーマは毎回変える
- ・スピーチの内容は前向きなものにする
- ・スピーチ、発言者に批判批評はしない、終了したら必ず拍手をする
- ・明るい雰囲気づくりに努める

●朝礼のアイデア

これらは実際にある一例です。朝礼で大切なのは継続することで、奇抜なアイデアが魅力的というわけではありませんが様々なアイデアを見て改善のヒントにお役立てください。

- ・若手社員の自主運営による朝礼にする
- ・挨拶をする時、ハイタッチをする
- ・スピーチのテーマを毎回サイコロで決める
- ・自分が感じた「感謝の想い」を発表する

